

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

思考スキル

○情報^{じょうほう}を獲得^{かくとく}する

- ・問題文から情報^{じょうほう}や問題^{もんだい}の条件^{じょうけん}を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現^{さいげん}する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示^{しじ}通りの操作^{そうさ}を正しく行う

○調べる

- ・方針^{ほうしん}を立て、考えられる場合をもれや重複^{さか}なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則^{ほうそく}を発見する

○順序^{じゅんじょ}立てて筋道^{すじみち}をとらえる

- ・変化する状況^{じょうきょう}を時系列^{じけいれつ}で明らかにする
- ・複雑^{ふくざつ}な状況を要素^{ようそ}ごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴^{とくちょうてき}的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立^{きわだ}った部分(計算式の数、素数^{そすう}、約数、平方数、…など)に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性^{たいしょうせい}に注目する
- ・規則^{きそく}や周期に注目する

○一般^{いっぱん}化する

- ・具体的な事例^{じしよ}から、他の状況にもあてはまるような式^{みちび}を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○視点^{してん}を変える

- ・図形を別の視点で見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

○特定^{じようきよう}の状況^{かてい}を仮定する

- ・「極端^{きょくたん}な場合を想定して考える(もし全て○○なら、もし○○がなければ、…など)
- ・不足^{おきな}を補ったり、余分^{よぶん}を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数^{ふくすう}のものが移動^{いどう}するとき、特定のものだけを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答^{かいとう}の範囲^{はんい}や大きさの見当をつける

思考スキル

○知識^{ちしき}

- ・ 情報を手がかりとして、持っている知識^{ちしき}を想起する
- ・ 想起した知識^{ちしき}を正しく運用する

○理由

- ・ 筆者の意見や判断^{はんだん}の根拠^{こんきょ}を示す^{しめ}
- ・ ある出来事^{げんじ}の原因^{げんいん}、結果^{けいこ}となることを示す^{しめ}
- ・ 現象^{げんしょう}の背後^{はいご}にあることを明らかにする

○置き換え^か

- ・ 問いを別の形で言い表す
- ・ 問題^{じょうきよう}の状況を図表などに表す
- ・ 未知のものを自分が知っている形で表す
- ・ 具体的な数^ひと比^ひを自由に行き来する

○比較^{ひかく}

- ・ 多角的な視点^{してん}で複数のことがらを比べる^{くら}
- ・ 複数のことがらの共通点^{きょうつてん}を見つけ出す
- ・ 複数のことがらの差異^{さいい}を明確^{めいかく}にする

○分類

- ・ 個々の要素^こによって、特定のまとまりに分ける
- ・ 共通点^{きょうつてん}、相違点^{さういてん}に着目^{てきもく}して、情報を切り分けていく

○具体・抽象^{ちゅうしやう}

- ・ 文章から筆者の挙げる例、特定の状況^{しんじょう}や心情を取り出す
- ・ ある特徴^{とくちょう}を持つものを示す^{しめ}
- ・ 個々の事例^じから具体的な要素^{のぞ}を除いて形式化する
- ・ 個々の事例^じから共通する要素^{きょうつう}を取り出してまとめる

○関係づけ

- ・ 情報^{じほう}どうしを結び付ける
- ・ 要素間の意味^{いみ}を捉え^{とら}、情報^{じほう}を補う^{おぎな}
- ・ 部分と全体のそれぞれが互^{たが}いに与えあう影響^{えいきやう}に目を向ける
- ・ ある目的^{しゆだん}のための手段^{しゅだん}となることを見つけ出す

○推論^{すいろん}

- ・ 情報^{じほう}をもとに、論理的^{ろんりてき}な帰結^{けいけつ}を導き出す
- ・ 情報^{じほう}をもとに、未来^{みらい}・過去^{かこ}のことを予測^{よそく}する
- ・ 情報^{じほう}を活用^{かっくわ}して、さらに別の情報^{じほう}を引き出す

小学5年 基礎力テスト(国・算) —— 解答と解説

算数（国語と算数あわせて40分）

1

(1)	4252	(2)	3000	(3)	49
	21		22		23
(4)	1.11	(5)	1.32	(6)	$7\frac{7}{9}$
	24		25		26

2

(1)	410		(2)	37400		(3)	エ		
			27				28	29	
(4)	①	20		まい	②	5		まい	
			30				31		
(5)	①	面		力	②	E		K	
			32				(完答)33		

3

(1)	1800	cm ²	(2)	210	cm	(3)	170	cm
		34			35			36

4

(1)	90	個	(2)	ア	40	イ	40	(3)	39500	円
		37			38			39		40

国語

（国語と算数あわせて四十分）

問一	①	皿	②	画面	③	乗	④	健康	⑤	平静
41				42		43		44		45
問二	イ	問三	エ	問四	ひ	と	り	ぼ	っ	ち
46			47							48
問五	ア	問六	ウ	問七	エ					
49			50							51
問八	ウ	問九	エ							
52			53							

（配点）

算数

① 各 2 点 × 6 = 12 点

② (1)~(4)各 2 点 × 5 = 10 点 (5)各 3 点 × 2 = 6 点

③ (1)(2)各 3 点 × 2 = 6 点 (3)4 点

④ 各 3 点 × 4 = 12 点

国語

問一 各 2 点 × 5 = 10 点

他 各 5 点 × 8 = 40 点

計 100 点

【解 説】

② いろいろな文章題

(1) **A1** 再現する

もとの数は、「商×わる数+余^{あま}」で求められます。 $13 \times 30 + 20 = \underline{410}$

(2) **A1** 知識

「百の位まで」→十の位が4なので49は切り捨^すてて、 $\underline{37400}$

(3) **A1** 特徴的な部分に注目する 知識

2本の対角線が、まん中で交わったものが平行四辺形(ウ)、そのうち直角に交わったものがひし形(ア)、長さが等しいものが長方形(イ)、直角に交わり長さも等しいものが正方形(エ)です。

(4) **A2** 情報を獲得する

① 図より、妹のおり紙の2倍と10まいで50まいなので、

$$50 - 10 = 40 \text{ (まい)} \quad 40 \div 2 = \underline{20 \text{ (まい)}}$$

② 50まいを2人で同じまい数ずつ分けると、1人分は、 $50 \div 2 = 25$ (まい)

$25 - 20 = \underline{5 \text{ (まい)}}$ (差の半分 $10 \div 2 = 5$ をやりとりすると、2人とも同数になると考えてもよいでしょう。)

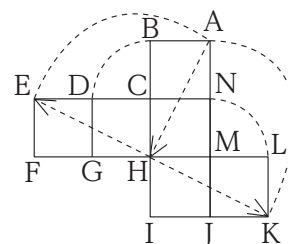
(5) **A2** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

- ① 自分のいる教室におきかえて、すわっている面を床としてそれぞれ前後、左右、天じょうにしてみると、右の図のようになります。左と平行なのは右で、力となります。



- ② 直角に開いている辺から頂点BとDが重なることがわかり、そのとなりどうしの頂点AとEがかさなることがわかり、同じように頂点AとKが重なることがわかります。

参考：矢印の線のように、2つの面でできた長方形の対角線のはじにあたる2つの頂点が、立方体にくみたてた時に反対側になることを利用する考え方もあります。Aの反対側にあるのがHで、Hの反対側にあるのがEとKなので、AとE、AとHが重なるとわかります。



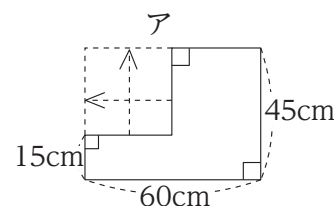
③ 長方形と正方形

(1) **A2** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

正方形イの1辺の長さ：15+45=60 (cm) 正方形の面積：60×60=3600 (cm²)
アの面積：3600÷2 = 1800 (cm²)

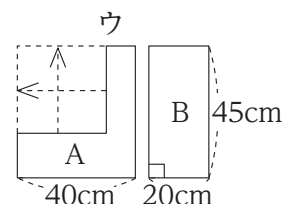
(2) **A2** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

右の図より、たて45cm、横60cmの長方形の
まわりの長さと同じなので、
(45+60)×2 = 210 (cm)



(3) **B1** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

A、Bの面積：1800÷2 = 900 (cm²)
Bの横の長さ：900÷45 = 20 (cm)
Aの底辺の長さ：60-20 = 40 (cm)
Aのまわりの長さは、たて45cm、横40cmの
長方形のまわりの長さと同じなので、
(45+40)×2 = 170 (cm)



4 表・折れ線グラフ・棒グラフ

- (1) A2 情報を獲得する 再現する

「売れた個数の合計」のグラフより、4 日間で売れた個数の合計は、 $80+130+90+140=440$ (個)
 よって、「4 日間で売れた個数」のグラフのメロンは、 $440-(140+110+100)=90$ (個)

- (2) B1 情報を獲得する 再現する

下の表に合計をいれて整理します。

ア：(金曜日の合計)－(金曜日のりんご以外の和)＝ $130-(10+50+30)=40$ (個)

日曜日に売れたりんご：(りんごの合計)－(日曜日以外のりんごの和)＝ $140-(30+40+30)=40$ (個)

日曜日に売れたキウイ：(キウイの合計)－(日曜日以外のキウイの和)＝ $110-(10+50+20)=30$ (個)

イ：日曜日に売れたメロン：(日曜日の合計)－(日曜日のメロン以外の和)＝ $140-(40+30+30)=40$ (個)

- (3) B1 情報を獲得する 再現する

表より、それぞれのねだんがわかるので、(2)で求めた
 日曜日に売れた個数を使って計算します。

$$\begin{aligned} & 200 \times 40 + 600 \times 40 + 100 \times 30 + 150 \times 30 \\ &= 8000 + 24000 + 3000 + 4500 \\ &= 39500 \text{ (円)} \end{aligned}$$

表

種類	1 個の ねだん	曜日と売れた個数				
		木	金	土	日	計
りんご	200円	30	ア	30		140
メロン	600円		10		イ	90
キウイ	100円	10	50	20		110
オレンジ	150円	20	30		30	100
計		80	130	90	140	440

【解説】

佐藤まどか「雨の日が好きな人」(講談社)から出題しました。自分よりもっと大変な状況にいる人もいるのだから、わがままを言っではいけないとわかってはいるものの、どうしても誰かをうらやんだり、憎らしく思ったりするものです。新しい家族と暮らすなかで、そんな思いを秘めている七海の苦しい心情を丁寧に読み取りましょう。

問一 A2 知識

小学四年生までに習う漢字が出題されています。とめやはねに注意して丁寧な字で書きましょう。

問二 A2 知識 関係づけ

①の前の五行を読みましょう。これまでにない良い点数がとれて、「早くおかあさんに見せたいな!…ウソをついてびっくりさせちゃおうかな」と心が浮き立っている様子がわかります。ウの「ヘラヘラ」は人にへつらい、軽々しくお世辞を言うときや、だらしなく笑うときなどに使うマイナスの言葉です。ここでは「ウキウキ」の方がふさわしいと言えるでしょう。

問三 B1 推論

——線②の直後に「自虐的にそう言う」とあります。「自虐的」とは自分で自分のことを苦しめるさま、自らを責めたてるさま、という意味の言葉です。ここでは自分の言動などを自分で笑いのネタにするというニュアンスで使われています。なぜ、七海が両親のことを思っでご飯を作ったことを、そのご飯を、七海自身が笑い物にしたのかを問われています。みんなで食卓を囲めると思っでウキウキと作ったのに、それが叶わなかった、そんなみじめな自分を笑うことで、悲しさから目をそらそうとしているのだと考えられます。アは、一緒にご飯は食べられない、という連絡が来た後だという時系列とあいません。またウも、プラスの気持ちで書かれており「自虐」という言葉とあいません。イ「七海に気を遣う様子も見せず」の部分が「ごめんね」という母親からのメッセージとかみあいませんし、「憎む気持ちがおさえられない」という言葉も強すぎる表現です。そして、この選択肢にも「自虐」の要素が入っていません。

問四 B1 理由 関係づけ

——線③の直前に「テレビ画面では、四大家族が食卓をかこんで大笑いしている」とあります。自分は今、ひとり孤独に食べている、それなのにテレビでは家族で食卓を囲んでいる、この状況に「イラっときた」のだとわかります。リード文にも「自分とはあまりに対照的な…楽しげに食卓を囲む家族の姿」とあります。ですから、空欄には「ひとり」「孤独」に係する言葉が入ると考えられます。すると——線④の二行前にある「ひとりぼっち」という言葉が見つかります。

問五 B1 推論 関係づけ

——線④を含む一文を読むと「こういうのをドラマクインっていう」とあるので、直前の「自分で自分をあわれむのが得意」という表現に注目します。その言葉に一番関係の深い選択肢は、アです。イ「感情が豊かで人をひきつけてはなさない」、ウ「感動的な話やおもしろい話を…聞かせるのが好き」、エ「前向きに生きることをあきらめない」などの表現が「自分で自分をあわれむ」という表現とあいません。

問六 B1 理由 推論

——線⑤のような行動を直後で「残酷なイモいじめ」と言っています。——線③の三行後から、——線⑤の直前までを読むと、幸ちゃんに嫉妬する気持ち、自分がひとりぼっちだ、というさびしさ、健康だからラッキーともいえるが、そのせいでひとりぼっちであることも我慢せざるを得ない、というどこにぶつけていいかわからない気持ちがつづられています。その気持ちをイモにぶつけているのでしょうか。ア「両親に：わからせよう」、イ「ジャガイモを幸や両親に見立てて」「気持ちが自然と落ち着く」、エ「気分をきりかえよう」がいずれも本文からは読み取れません。

問七 B1 関係づけ

行動の目的を聞かれたときは、その人がその後で何をしているかを読みとりましょう。おかあさんは、七海と一緒にご飯を食べられなかったことを謝っています。そして、自分のことを思っで七海がおでんを作ってくれたこともわかっていようです。だからこそ一人で食べさせたことを申し訳なく思い、部屋まで来たのだと考えられます。ア「さびしさも見せず」、ウ「幸やおじさん

の苦しさも思いやるように忠告^{ちゅうごう}」の部分の不適切です。イ幸の無事を真っ先に伝えたいのであれば七海が「あのさ」と言う前に言うはずです。

問八 B1 関係つけ

——線⑦の「そんなこと」は直前の「そのこと」と同じものを指しますから、「幸ちゃん、少し体調が回復した」を指しているのだと考えられます。

問九 B1 推論

「ぬくもり」「ほんの少し…残った」という表現に注目しましょう。——線⑧の前の「わかるわけない…なんとかこらえて、うなずいた」などの表現からもわかるように、この時の七海は幸ちゃんへの嫉妬や、さびしさ、やり場のない怒り^{いか}といった気持ちでいっぱいです。でも、「ぬくもり」という表現から、お母さんが頭に手をおいてくれたことに対するうれしさが読み取れます。ですから、プラスとマイナスの相反する感情に触^ふれられているエが正解です。アは「うれしい気持ち」にしかふれられていません。イ・ウは「ぬくもり」という言葉にふれられていません。